

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第16週 （4月13日～4月19日）

## ★お知らせ

### ○手足口病に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は先週の0.60から1.73と増加しています。幡多では警報値を超えています。注意が必要な時期ですので、食事前やトイレ後の手洗いなど、感染予防対策を心がけてください。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は先週の4.70から4.77と増加しています。安芸では注意報値を超えています。今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

### 手洗いと咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。

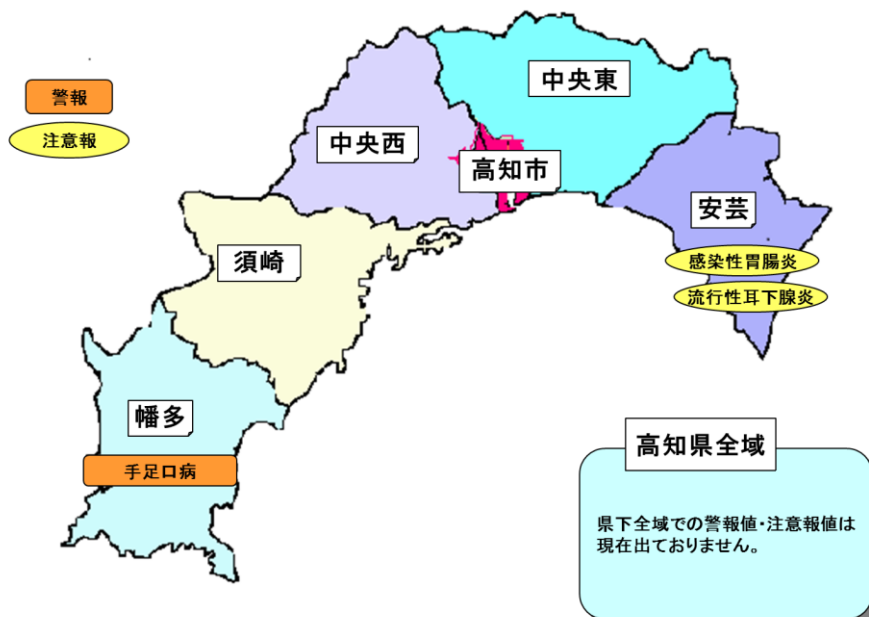
## ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増    ↗：増加    →：横ばい    ↘：減少    ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	4.77	安芸、高知市で増加し、安芸では注意報値を超えています。
インフルエンザ	↗	3.23	高知市、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	2.47	高知市、須崎、幡多、中央西で増加しています。
手足口病	↑	1.73	幡多、高知市で増加し、幡多では警報値を超えています。
流行性耳下腺炎	→	0.70	安芸、高知市で増加し、安芸では注意報値を超えています。

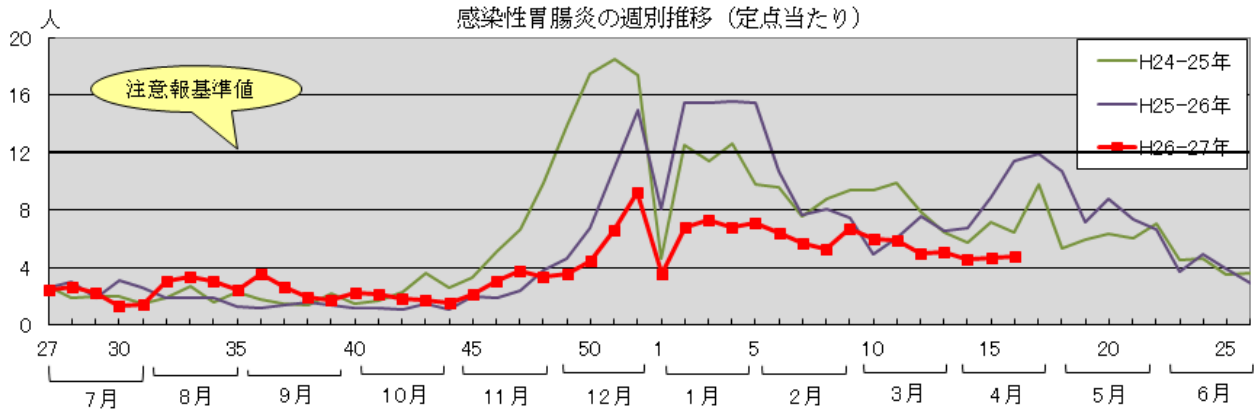
## ★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

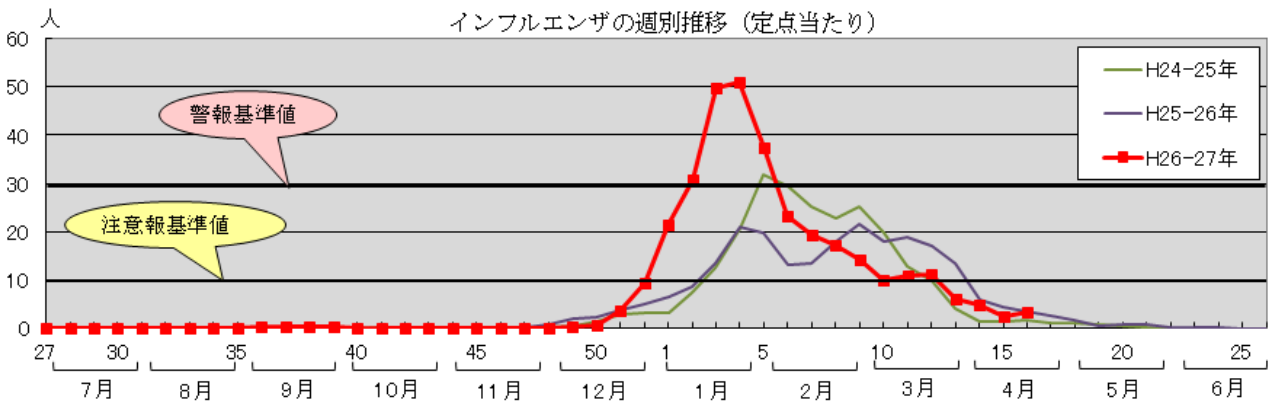
○**感染性胃腸炎：4.77**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.77（前週 4.70）と増加しています。地域別にみると安芸（16.00：前週 5.50）中央西（6.00：前週 5.67）高知市（4.82：前週 3.27）で増加し、安芸では注意報値を超えています。



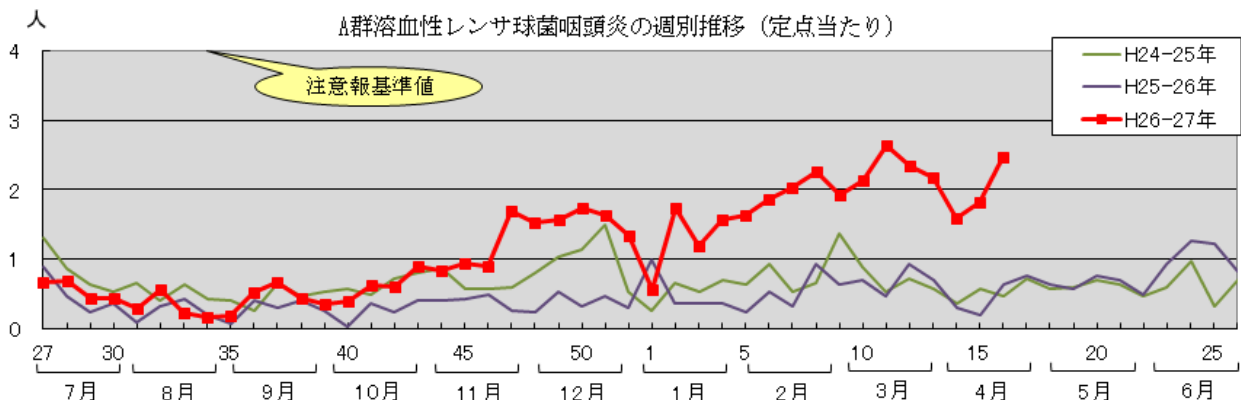
○**インフルエンザ：3.23**（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.23（前週：2.46）と増加しています。地域別にみると、高知市（3.94：前週 2.31）、幡多（3.38：前週 1.88）、須崎（1.75：前週 1.25）、安芸（1.25：前週 1.00）で増加しています。迅速検査ではインフルエンザ A 型 7.1%、B 型 92.9%となっており、引き続き B 型の割合が多くなっています。



○**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.47**（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.47（前週 1.83）と増加しています。地域別にみると高知市（3.64：前週 2.36）、須崎（3.50：前週 2.00）、幡多（3.40：前週 2.40）、中央西（1.33：前週 0.67）で増加しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
16	咽頭結膜熱	11ヶ月	男	中央東	Human metapneumovirus
16	無菌性髄膜炎の疑い	2ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
16	気管支炎	2	男	中央東	Rhinovirus
16	発疹症	2	女	幡多	Rhinovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
14	伝染性紅斑	5	男	須崎	B19 virus
14	不明発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
14	急性脳炎脳症	13	男	高知市	Human herpes virus 7
15	咽頭結膜熱	1	男	須崎	Adenovirus 5
15	咽頭結膜熱	2	女	須崎	Adenovirus 6
15	不明発疹症	1	男	須崎	Echovirus 18
15	不明発疹症	1	男	須崎	Human herpes virus 7
15	不明熱	5	女	須崎	Human metapneumovirus

※は受付週に PCR 検査で検出した後ウイルスを分離培養したものです。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	3	51	60歳代(男)	幡多
				40歳代(男)	
				70歳代(男)	中央西
5類	梅毒	1	1	30歳代(男)	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎1例(1歳女)
中央東	高知大学医学部附属病院小児科	ロタウイルス1例(1歳女)
	あけぼの小児クリニック	ロタウイルス感染症1例(1歳)
		アデノウイルス感染症1例(1歳)
		hMPV感染症2例(2歳、7歳)
	キャンピロバクター腸炎1例(3歳)	
早明浦病院小児科	インフルエンザB型6名(1~6歳)	
野市中央病院小児科	急性出血性腸炎1例(9歳男) 病原性大腸菌O-1、ペロ毒素(-)、キャンピロバクター同時感染	
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス気管支炎1例(1歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ感染症1例(9歳女)
		インフルエンザB型3例、A型1例
		流行性耳下腺炎(ムンプス)1例(2歳男)
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌O-25腸炎1例(0歳男)
		病原性大腸菌O-1腸炎1例(6歳女)
		hMPV肺炎1例(1歳男)
		キャンピロバクター腸炎5例(1歳女、3歳女、7歳男、10歳男、16歳女)
ロタウイルス腸炎1例(1歳男)		
マイコプラズマ肺炎2例(5歳女、34歳女)		
カンピロバクター+病原性大腸菌O-15 1例(5歳男)		
カンピロバクター+病原性大腸菌O-6 1例(7歳男)		
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザB型3例
	石黒小児科	帯状疱疹1例(7歳女)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎3例
		インフルエンザB型3例
		キャンピロバクター腸炎2例(7ヶ月男、6歳女)
幡多	さたけ小児科	hMPV 15例(0歳男4、1歳男1、1歳女2、2歳男1、2歳女4、3歳男1、3歳女1、4歳女1)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 3例(7ヶ月女、1歳男、2歳女)

## ★全国情報

### 第14週 (3/30～4/5)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核282例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症12例、腸チフス1例、バラチフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎4例、チクングニア熱1例、つつが虫病1例、デング熱8例、レジオネラ症18例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例、後天性免疫不全症候群11例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症29例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒34例、播種性クリプトコックス症1例、風しん1例

報告遅れ：E型肝炎2例、デング熱3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎6例、水痘（入院例に限る）1例、播種性クリプトコックス症4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

## ★我が国における麻しんの排除状態の認定

世界保健機関 (WHO) 西太平洋地域事務局は、麻しんの排除確認の国際的判断基準 (Verification Criteria) として、麻しん排除確認ガイドライン (Guidelines on Verification of Measles Elimination in the Western Pacific Region, 2013) を提供してきた。麻しん排除状態の認定には、以下の3つの基準を満たすことが必要とされる。

- 最後に確認された土着の麻しんウイルス株 (12カ月以上地域循環した麻しんウイルス) の存在から少なくとも36カ月が経過し、土着の麻しんウイルス株の地域循環がなくなっていることが示されること。

- 麻しん排除の確認が可能なサーベイランスがあること。

- 土着の麻しんウイルス株の伝播がなくなっていることを支持する遺伝子型の証拠が存在すること。

我が国は「麻しんに関する特定感染症予防指針 (以下、指針)」 (2007年12月28日厚生労働省告示第442号、2013年3月30日改訂厚生労働省告示第126号) に基づき、2015年度までに麻しんの排除を達成し、WHOによる麻しんの排除の認定を受けることを目標とし、麻しんの排除に向けた取り組みを進めてきた。

まず、麻しんの排除状態の認定には、排除の確認が可能なサーベイランスの存在が必要である。国レベルでの麻しんサーベイランスとしては、発生動向調査において2008年から、それまで行われていた定点サーベイランスから、症例ごとの全数サーベイランスへと移行した。全数サーベイランスにより報告された麻しん症例数は、2008年に11,013例であったが、2009年に732例、2010年には447例、2011年には439例、2012年には283例、そして2013年には232例へと減少した。2014年には、463例 (暫定値) と増加したが、大半は2013年の冬から2014年の春に、フィリピン等のアジア諸国からの輸入例の増加に起因し、1年以上の地域循環を起こしていないことがウイルス学的と疫学的解析により示された。また、この様に麻しんウイルスが輸入されても、大きな流行を起こすことなく、散発あるいは小規模に終息したことは、人口レベルでの高い抗体保有率を維持していたことと、1例でも発生したら迅速な積極的疫学調査を実施し、適切な感染拡大予防策を行う自治体の体制整備の成果と思われた。また、日本の土着の麻しんウイルス株とされていたD5は、2010年5月を最後に国内では検出されていない。

麻しん排除を目指す上で、ワクチンは重要な役割を果たす。1978年に、麻しんは予防接種法の下での国の定期接種対象疾患となり、1回の麻しんワクチン接種が開始された。2006年には、麻しん風しん混合 (MR) ワクチンを用いた2回接種が導入された。対象は、麻しん含有ワクチン接種の一回目の接種 (MCV1) が生後12月～24月の幼児であり、二回目の麻しん含有ワクチン (MCV2) の接種が小学校入学前1年間の小児である。2007年に策定された指針に基づき、5年間の時限措置として中学1年生 (第3期) と高校3年生相当年齢の者 (第4期) へのMRワクチン接種が導入された。この年代は2007～2008年における麻しんの流行の中心であり、MRワクチンの2回接種を受ける機会が無かった10代への免疫賦与を行うことが出来た。ワクチン接種率については、2013年度、MCV1については95.5%、MCV2については93.0%であった。2013年度の血清疫学調査 (感染症流行予測調査) による分析では、PA抗体による結果として、2歳以上人口の95%以上が抗体陽性であったことが示された。

2014年に、我が国の麻疹排除認定会議〔National Verification Committee ( NVC) for Measles Elimination in Japan〕は、日本国内ではWHO西太平洋地域事務局の示す、前述の麻疹排除状態の基準を満たす状態であるとして、WHOの地域麻疹排除認定会議 (Regional Verification Committee) に報告書 (Progress Report of Measles Elimination in Japan) を提出した。その結果、2015年3月27日、WHO西太平洋地域事務局により、日本は西太平洋地域の他の2つの国 (ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア) とともに、麻疹の排除状態にあることが認定された。我が国における麻疹の排除状態の認定に関しては、国や自治体等の関係者により、サーベイランス、疫学調査、検査の徹底等の体制を築き上げてきたこと、また、ワクチン接種への取り組みが大きく寄与したと考えられる。排除状態の維持に向けた今後のますますの取り組みが期待される。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第16週 平成27年4月13日(月)～平成27年4月19日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計)		全国(15週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/4/19				H26/12/29～H27/4/12		
インフルエンザ	インフルエンザ	5	38	63	15	7	27	155 ( 3.23)	118 ( 2.46)	7,715 ( 1.57)	15,035 ( 313.23)	1,105,528 ( 224.43)		
小児科	咽頭結核熱		1			1		2 ( 0.07)	3 ( 0.10)	850 ( 0.27)	35 ( 1.17)	13,958 ( 4.44)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	40	4	7	17	74 ( 2.47)	55 ( 1.83)	6,944 ( 2.20)	899 ( 29.97)	114,588 ( 36.47)		
	感染性胃腸炎	32	26	53	18	7	7	143 ( 4.77)	141 ( 4.70)	18,354 ( 5.82)	2,749 ( 91.63)	335,272 ( 106.71)		
	水痘		2	1	2		1	6 ( 0.20)	12 ( 0.40)	1,440 ( 0.46)	188 ( 6.27)	25,776 ( 8.20)		
	手足口病		5	16			30	52 ( 1.73)	18 ( 0.60)	1,704 ( 0.54)	370 ( 12.33)	17,001 ( 5.41)		
	伝染性紅斑		1				1	2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	1,411 ( 0.45)	25 ( 0.83)	17,732 ( 5.64)		
	突発性発疹	1	3	10	1	2	1	18 ( 0.60)	8 ( 0.27)	1,717 ( 0.54)	166 ( 5.53)	20,145 ( 6.41)		
	百日咳							( )	( )	46 ( 0.01)	4 ( 0.13)	463 ( 0.15)		
	ヘルパンギーナ	1		1			1	3 ( 0.10)	( )	178 ( 0.06)	10 ( 0.33)	1,193 ( 0.38)		
	流行性耳下腺炎	7	1	11			2	21 ( 0.70)	18 ( 0.60)	1,097 ( 0.35)	302 ( 10.07)	14,053 ( 4.47)		
眼科	RSウイルス感染症			1			6	7 ( 0.23)	5 ( 0.17)	681 ( 0.22)	350 ( 11.67)	25,070 ( 7.98)		
	急性出血性結膜炎							( )	( )	12 ( 0.02)	( )	129 ( 0.19)		
基幹	流行性角結膜炎							( )	1 ( 0.33)	327 ( 0.48)	5 ( 1.67)	4,379 ( 6.38)		
	細菌性結膜炎							( )	( )	8 ( 0.02)	3 ( 0.38)	114 ( 0.24)		
	無菌性結膜炎							( )	2 ( 0.25)	18 ( 0.04)	5 ( 0.63)	199 ( 0.42)		
	マイコプラズマ肺炎	1	1	2			1	5 ( 0.63)	4 ( 0.50)	95 ( 0.20)	55 ( 6.88)	1,569 ( 3.30)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 ( 0.13)	1 ( 0.13)	2 ( )	10 ( 1.25)	94 ( 0.20)		
	感染性胃腸炎		1					1 ( 0.13)	( )	225 ( 0.47)	23 ( 2.88)	2,154 ( 4.53)		
計(小児科定点当たり人数)	48 ( 22.25)	84 ( 9.72)	199 ( 16.03)	41 ( 11.66)	24 ( 10.25)	94 ( 16.58)	490 ( 14.17)			42,824	20,234 ( 483.16)	1,699,417		
前週(小児科定点当たり人数)	23 ( 10.50)	105 ( 12.84)	123 ( 9.47)	45 ( 12.60)	41 ( 19.25)	50 ( 8.88)		387 ( 11.16)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点当たり

第16週

定点名	疾病名	保健所							計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計)		全国(15週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/4/19				H26/12/29～H27/4/12		
インフルエンザ	インフルエンザ	1.25	3.45	3.94	3.00	1.75	3.38	3.23	2.46	1.57	313.23	224.43		
小児科	咽頭結核熱		0.14			0.50		0.07	0.10	0.27	1.17	4.44		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.71	3.64	1.33	3.50	3.40	2.47	1.83	2.20	29.97	36.47		
	感染性胃腸炎	16.00	3.71	4.82	6.00	3.50	1.40	4.77	4.70	5.82	91.63	106.71		
	水痘		0.29	0.09	0.67		0.20	0.20	0.40	0.46	6.27	8.20		
	手足口病		0.71	1.45	0.33		6.00	1.73	0.60	0.54	12.33	5.41		
	伝染性紅斑		0.14				0.20	0.07	0.03	0.45	0.83	5.64		
	突発性発疹	0.50	0.43	0.91	0.33	1.00	0.20	0.60	0.27	0.54	5.53	6.41		
	百日咳									0.01	0.13	0.15		
	ヘルパンギーナ	0.50		0.09			0.20	0.10		0.06	0.33	0.38		
	流行性耳下腺炎	3.50	0.14	1.00			0.40	0.70	0.60	0.35	10.07	4.47		
眼科	RSウイルス感染症			0.09			1.20	0.23	0.17	0.22	11.67	7.98		
	急性出血性結膜炎									0.02		0.19		
基幹	流行性角結膜炎								0.33	0.48	1.67	6.38		
	細菌性結膜炎									0.02	0.38	0.24		
	無菌性結膜炎								0.25	0.04	0.63	0.42		
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00	0.40			1.00	0.63	0.50	0.20	6.88	3.30		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.13		1.25	0.20		
	感染性胃腸炎		1.00					0.13		0.47	2.88	4.53		
計(小児科定点当たり人数)	22.25	9.72	16.03	11.66	10.25	16.58	14.17				483.16			
前週(小児科定点当たり人数)	10.50	12.84	9.47	12.60	19.25	8.88		11.16						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869